

火山調査研究推進本部政策委員会
第10回総合基本施策・調査観測計画部会における
「火山に関する総合的な調査観測計画（案）」に関する主な意見

火山調査研究推進本部政策委員会第10回総合基本施策・調査観測計画部会における委員からの主な意見において、「火山に関する総合的な調査観測計画（案）」に関連するものは以下のとおりである。文案に対する第10回部会での意見を整理しリスト化した。

第1章 火山に関する調査観測の推進についての基本的考え方

3. 火山に関する調査観測を取り巻く環境の変化

＜持続的な調査観測体制＞

・一方、調査観測体制を持続するためには、多数の火山観測点を適切に保守・更新する必要があるが、観測機器や設備の老朽化、維持費用の確保が問題となっており、観測点の適切な運用と継続に大きな課題が生じている。（資料 総10－（1）のL204-206）

・事前ヒアリングでは、文末に「特に、大学の常設観測点の維持は、研究者の個人の努力に大きく依存している。」を追記すると回答しているが、これに加えて、長期継続性が成り立たないことも明確にしておく必要がある。

・一定の水準を保ちながら、観測点を取捨選択していくことになるのでは。

（上記意見への考え方）

→課題は承知した。表現を工夫しながら更に修文をする。

5. 火山に関する調査観測の進むべき方向性

・そして、この調査観測体制を持続可能なものとするために、観測機器・設備等の長期継続性と更新性の確保、火山専門人材育成体制との連携、調査観測の効率化が必要である。（資料 総10－（1）のL235-237）

・特に物質科学分析においては人材の確保が求められるため、該当部に「確保」についても記述を追加してはどうか。

（上記意見への考え方）

→修文する。

第2章 火山に関する総合的な調査観測の実施について

1. 基盤的な調査観測

（1）陸上の基盤的な調査観測

・多項目観測を基本とすることを、章の最初に書いてはどうか。

（上記意見への考え方）

→修文する。

- ・ボアホール観測点4点が基本となることを示してはどうか。最初に基本的な考え方を示しておく読みやすい。

(上記意見への考え方)

→ボアホール観測点4点が基本となることは、地震観測(資料 総10-(1)のL307-308)と地殻変動観測(資料 総10-(1)のL351-352)の両方について、基本的な考え方に記述されている。

- ・陸上の基盤的な観測体制は、陸上の火山における火山活動の状態や火山ハザードの把握、噴火の時期、場所、規模、様式、推移の把握と予測、及びこれらに基づく火山ハザードの予測のための調査及び研究を一定の水準で推進するために必要である。(資料 総10-(1)のL285-288)

- ・噴火の場所や様式の予測等が可能となるような調査及び研究を一定の水準で推進するための調査観測計画を提示する。(資料 総10-(1)のL292-294)

- ・ここでは、調査観測の一定水準を示すものではないのか。
- ・一定水準の調査研究がどういうものか書き加えてはどうか。
- ・調査観測をどのレベルでやらなければならないかを記述してはどうか。

(上記意見への考え方)

→ここでの「一定の水準」は「基盤的な調査観測体制」に係っており、この点が適切に表現できるように修文する。

(1) —3 その他

- ・防災科学技術研究所V-netと気象庁常時観測体制に、空振計あるいは微気圧計を設置し噴火現象等を観測する。(資料 総10-(1)のL387-388)

- ・空振観測についても、防災科学技術研究所 V-net と気象庁常時観測体制による観測が基本であることを示してはどうか。
- ・大学の観測データを活用することを追記してはどうか。

(上記意見への考え方)

→追記・修文する。

- ・防災科学技術研究所、気象庁、国土地理院は、ボアホール型を含む常時観測点の整備、更新等に関し連絡・調整する場を設置し、火山本部で検討された観測点配置の方針の下、地形的、地理的条件等を考慮しつつ、個別の火山における観測点の配置等に関する具体的な調整を行うとともに、対象火山に観測点を設置している大学等の意見を聴取する。(資料 総10-(1)のL390-394)

- ・山頂観測点の設置等に関して、大学等が有するノウハウを検討の場に活かす仕組みにしてはどうか。

(上記意見への考え方)

→火山本部が設置することとしている「各火山の観測点配置、運用及び高度化の方針を検討する場」において大学等が有するノウハウを活かすことが可能と考えるが、観測点整備・更新の際にも大学等の意見を聴取しつつ具体的な調整を行うことが読めるよう修文する。

(3) 噴火履歴・火山体構造等の基礎情報調査

3) 今後の計画

・火山本部の基礎情報調査の対象火山については、111の活火山を対象とし、実現性、科学的意義等を考慮して、火山本部が選定する。(資料 総10-(1)のL474-475)

・基礎情報調査の対象火山は火山本部が選定するとしているが、選定は計画的に実施していくことを書いてはどうか。

(上記意見への考え方)

→修文する。

4. 物質科学分析

3) 今後の計画

・火山噴出物分析センターの取組のほか、大学、研究機関等の関係機関がそれぞれの目的で実施する物質科学分析について、火山に関する総合的な評価のための成果の共有や、先端的な学術研究における物質科学分析の知見について協力を得ることを期待する。(資料 総10-(1)のL651)

・「期待する」ではなく、「協力を得る」などにしてはどうか。

(上記意見への考え方)

→修文する。